

編集後記

先日まで暑い、暑いと言っていたのにあつという間に冬がやって来ました。まさに「光陰矢の如し」です。歳を取るに従い時間のスピードがどんどん早く感じてしまうのは、おそらく皆さんも感じられることと思います。調べてみますとジャンネの法則というものがありました。これはフランスの哲学者ポール・ジャンネが、年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられるという現象を説明したものです。彼の理論によると、生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例するようで、例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1であるが、5歳の人間にとっては5分の1に相当する。そのため50歳の人間にとっての10年間は5歳の人間にとっての1年間に当たるそうです。数字の可否はともかく、感覚的には納得できます。自分への反省を込めて、続きの「学成り難し」を若い教室員に言い続けることにします。

さて、今月の特集はあいち小児保健医療センターの服部義先生が企画された「小児整形外科の最新知見」です。稀少疾患への治療の進歩から虐待の問題まで実に多くの新しい知識が盛りこまれています。窪田氏は低ホスファターゼ症とモルキオ病に対する酵素補充療法の現状について紹介いただきました。松下氏は軟骨

無形成症の治療の現状と、現在開発中であるFGFRインヒビター、Cタイプナトリウム利用ペプチド、スタチン、メクロジンなどの可能性について記載いただきました。8プレートを用いたguided growthは成長という小児特有の利点を応用した画期的な方法です。古橋氏はその治療の実際と問題点について挙げていただきました。北野氏は発育性股関節形成不全における診断遅延の問題や新生児スクリーニングの現況を紹介され、また今後の課題としてprimary acetabular dysplasiaの診断の重要性を指摘されています。青木氏は小児整形外科領域においてあらゆる部位でエコーによる診断が進歩していること、山口氏は化膿性骨髓炎・関節炎それぞれの最新の治療法について示していただきました。また、大きな社会的問題として取り上げられている自動虐待について、菊地氏は現況と対応について記載いただきました。

小児整形外科の中には抜本的な治療法のない疾患や、小児であるがゆえに診断や治療が容易ではない場合がたくさんあります。今回特集されました新しい診断と治療法はいずれも有望なもので、今後、エビデンスが蓄積され、小児整形外科の患者さんの福音につながっていくことを期待します。

(中島康晴)

「整形・災害外科」第62巻 第1号 (1月号) 2019年1月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) 〔年間13冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。